

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	科研草笛ジャンボ
製品コード	KSJ
会社名	科研製薬株式会社
住所	東京都文京区本駒込 2丁目 28番 8号
担当部門	特薬営業部 特薬営業グループ 製剤直販チーム
電話番号	03-5977-5033
FAX番号	03-5977-5136
メールアドレス	ag_rd@kaken.co.jp
整理番号	KPH002-9

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

火薬類	分類対象外	自然発火性液体	分類対象外
可燃性 / 引火性ガス	分類対象外	自然発火性固体	区分外
可燃性 / 引火性エアゾール	分類対象外	自己発熱性化学品	区分外
支燃性 / 酸化性ガス類	分類対象外	水反応可燃性化学品	区分外
高压ガス	分類対象外	酸化性液体	分類対象外
引火性液体	分類対象外	酸化性固体	区分外
可燃性固体	分類できない	有機過酸化物	区分外
自己反応性化学品	分類対象外	金属腐食性物質	区分外

【健康に対する有害性】

急性毒性（経口）	区分4
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性 / 刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	分類対象外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性・全身毒性（単回暴露）	分類できない
特定標的臓器毒性・全身毒性（反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1

GHS ラベル要素
【絵表示又はシンボル】



危険

【注意喚起語】

【危険有害性情報】

- ・ 飲み込むと有害（経口）
- ・ 発癌のおそれ
- ・ 水生生物に非常に強い毒性
- ・ 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

【注意書き】

[安全対策]

- ・ 使用前に製品ラベルの注意事項をよく読み使用すること。
- ・ 環境への放出は避けること。
- ・ 水田除草の目的のみに使用し、使用直後は水管理に注意し、河川への流出を避けること。
- ・ 取扱いは保護具を着用すること。
- ・ 粉じんを吸入しないこと。
- ・ 使用後は手や顔を良く洗うこと。

[応急措置]

- ・ 水田以外で誤って流出させた場合、流出物を回収すること。

[保管]

- ・ 直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管する。

[廃棄]

- ・ なるべく有効期間内に水田で使い切る。
- ・ 内容物または容器を廃棄する場合は、該当法規に従い都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名 クミルロン
1-(2-クロロベンジル)-3-(1-メチル-1-フェニルエチル)ウレア
ペントキサゾン
3-(4-クロロ-5-シクロペンチルオキシ-2-フルオロフェニル)-5-イソプロピルピリジン-1,3-ジメチルリン-2,4-ジオン

一般名 クミルロン・ペントキサゾン剤

成分	含有量 %	化学式	官報公示整理番号 化審法 安衛法	PRTR 法	CAS 番号
クミルロン	15.0	C ₁₇ H ₁₉ ClN ₂ O	4-(13)-173	1種 124	99485-76-4
ペントキサゾン	4.5	C ₁₇ H ₁₇ ClFNO ₄	8-(7)-1209		110956-75-7
シリカ	7.0 >	SiO ₂	312		7631-86-9
界面活性剤、発泡剤等	73.5				

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 剤の形状から吸入することはないが、粉末を吸入した場合は被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動し、衣服を緩めて深呼吸させ、よくうがいをする。
- 皮膚に付着した場合 : 濡れた手で作業し、製品が付着した場合は、その部分を水またはぬるま湯で十分洗い流し、石けんを使って洗浄する。
- 眼に入った場合 : 剤の形状から眼に入ることはないが、粉末が入った場合は直ちに清浄な水で眼球まぶたのすみずみまでよく洗眼する。
- 飲み込んだ場合 : 剤の形状から飲み込む可能性は低いですが、誤って口に入れたものは速やかに吐き出させ、うがいをし口の中をよく洗浄する。必要に応じて直ちに医療措置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、炭酸ガス、泡、水、乾燥砂。
- 特定の消火方法 : 初期の火災には、水、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 消火を行う者の保護 :
燃焼または高温により有毒ガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 :
作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着しないようにする。
- 環境に対する注意事項 :
河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、処理後数日間は落水、かけ流しはしない。
- 除去方法 : 落下して破損した場合は、直ちに拭き取り、空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取り扱う前には必ずラベルをよく読む。
通常の手扱いは危険性は低いですが、誤飲・誤食などのないように注意する。
取扱いの際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
取扱い後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
開封した製品はなるべく使い切り、河川、湖沼、養魚池等に直接投入しない。

保管

- 適切な保管条件 :
直射日光をさけ、食品と区別して低温で乾燥した場所に保管する。
炭酸ガスによる袋に膨張するおそれがあるので、50℃を越える高温条件となる場所には保管しない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。
- 保護具
呼吸用保護具 : 農業用マスク
手の保護具 : 保護手袋（ゴム手袋）
皮膚及び身体の保護具 : 作業衣、帽子、保護服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 錠形 (直径 5cm、厚さ 18mm)
 色 : 類白色
 pH : 6.5
 酸化性 : 発泡成分に酸及びアルカリ成分を含む。
 比重 : 1.40

10. 安定性及び反応性

安定性 : 常温・常圧で安定
 反応性 : 50 を越える高温条件下では発泡成分が徐々に反応し、二酸化炭素を発生する。
 避けるべき条件 : 50 を越える高温条件

11. 有害性情報

急性毒性 :	経口	ラット()LD ₅₀	()2,074mg/kg、()961mg/kg (クミロン原体)	[区分4]
			> 5,000mg/kg (ペンタザン原体)	[区分外]
	経口	マウス()LD ₅₀	> 5,000mg/kg (各原体)	[区分外]
	経皮	ラット()LD ₅₀	> 2,000mg/kg (各原体)	[区分外]
皮膚刺激性		ウサギ	刺激性なし	[区分外]
眼刺激性			剤の形状より未実施	
皮膚感作性		モルモット	感作性なし	[区分外]

12. 環境影響情報 (ケガレイオ-70Aブル理由書提出済)

水生環境急性有害性 : 藻類のデータに基づき区分1とした。
 水生環境慢性有害性 : 藻類のデータ及び原体の BCF が 500 < より区分1とした。

魚毒性 :	コイ	LC ₅₀	96h	44mg/L
	オオミジンコ	EC ₅₀	48h	68.7mg/L
	藻類	ErC ₅₀	0-72h	0.0518mg/L

13. 廃棄上の注意

開封した製品はなるべく使い切り、空袋は圃場などに放置せず水産動植物に影響の無いよう適切に処理する。廃棄する場合には、都道府県知事の許可を受けた処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 9
 国連番号 : 3077
 国連輸送品名 : 環境有害性物質 (固体) n.o.s.
 容器等級 :
 海洋汚染物質 : 該当

国内規制

輸送時の特定の安全対策及び条件 :

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。水濡れに注意する。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

農薬取締法 登録番号 : 第19854号
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 第1種124号 : クミロン

16. その他の情報

主な引用文献：

- 1) ラベル・製品安全データシート作成実務必携 GHS 対応国内版
(2007年6月 化学工業日報社)
- 2) [改訂第3版] 緊急時応急措置指針
(2009年9月(社)日本化学工業協会)
- 3) 農薬中毒の症状と治療法
(1998年4月 農林水産省農産園芸局)

本製品安全データシート(MSDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は、MSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

緊急連絡先：03-5977-5033

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499 (情報料無料)
365日24時間対応

(つくば) 029-852-9999 (情報料無料)
365日9~21時対応

医療機関専用有料電話 (大阪) 072-726-9923 (1件2000円)
365日24時間対応

(つくば) 029-851-9999 (1件2000円)
365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。